平新報

發行日 毎月三回 五ノ日發行
編輯兼發行印刷人 山野邊庄吉
福島縣平町二丁目二
發行所 平新報社
廣告料 五號十二字詰一行 一回五十錢 場所指定倍增
一部 定價金十錢 送料 五厘

面白い地名と風習の原因

齋藤昌武

地歴の専門家でも何んでもない自分は、地名と云ふものに就いてそう學的に論ずるわけにはゆかぬ、然し前の稿にも書いた様に地名とか風習とか云ふ人文的なものには、大低色々な由來づけたことがあるものである日常自然又は社會の事物について注意してゐるなればきつと面白いものがあることにきづく、私は前に「平」と云ふ地名、「平」に於ける風情習慣をば簡單ではあつたけれど、その依つて來たる由來をのべてみた。そこで今度全般的に地名起因の大約の分類をなすことにしよう。

第一に地名にはその周圍の地形を表象したものがある前にのべた平が「飯野平」と云ふ廣大な野原を表すために名つけられたとか、其の他耶麻(山)志摩(島)と云ふ様に山國、島の地形をすぐ地名にとつたもの進んではそれに性質形容詞等を用へて隱岐(沖にある島)と云ふ様に表されてゐるのもある

第二その町村部落の存する位置形狀を表したもの加美(上)と云ふ様なもの!

第三天然自然の存在物からとり入れたもの、例へば鮎川のあるところに助川と云ふ地名が發し温泉のあるところから湯本と云ふ地名が生れて來たもの更に進んで研究すると次の様なものがある。

第四に人が機械の力等で作つてつまり人造されたその地の存在物からとられたものとしては「宮島」「今島」と云ふものゝ他みなさんの想像の範圍に澤山ありませう。

第五、氏とか部民、人物の稱號をそのまゝには修正してとり入れたもの尾張三宅坂等は正に古昔偉人傑士の稱をとり入れ後世に紀念として名づけたものである。

其の他

第六人爲に由つてくけられたもの「出雲風土記」にある安來をのつて「安來」と云ふ土地が形づけられたものの他に擬準法によりつけられてあるものもある。勿論地名が現在の様にほゞ區軸井然となされるまでには幾多の修正と研究をつみ、段々とその土地を對外的に發表する最も平近な名稱へと移り變せられたものであつたでせう、けれどその間に於て以前の分類に隔してなつけられ土地が天然の變化地震とか、つなみの破壞により進んでは政治上經濟上の行政研究を經て、更によき方へと移つて行きあることはみのがすわけにはゆきますまい

こゝに於て私達は地名だとか風習なども「自然と人生」に、そだてられながら地方地方の人々の好む方へ好むものへと、とりかへられ、直し變へられして地方個々獨特の人々の理想を幾分づゝでも表す様になつてゐることに考を廣め得ます。

こゝに私達は政治をなし經濟をとり人間の理想を事現してゆきつゝある。

社會生活の上に於ても地名や風習を土地土地の特有たる點に思へ及ぼし考へてみることも面白く、且つ有益な研究材料であると思はれます、會津には「白虎隊」があつたため磐城の「盆をどり」があつて各々それらが又面白い風俗習慣を形づくり各往民の頭の中に、知らず自然の中に文化的一面を構成しつゝあることを考へても、各地にある風俗習慣は善惡にかゝはらずそのよつて來る起因を調べずにつまらぬものとなすことは一つの矛盾でありませう。世の中には研究して面白く有益なことが澤山あります。

（早大新聞研究室）

醫界新報

磐中出身醫學博士一覽

姓名	卒業回數	勤務地	出身地
佐波古直明	（一）	廣島市山陽病院長	湯本町
八木澤文吾	（三）	愛知醫科大學教授	湯本町
赤津誠內	（四）	牛込區通寺町開業	錦村
矢吹清	（五）	山形市至誠堂病院	夏井村
齋藤豐	（六）	病死	平町新町
金子甚藏	（二）	大連病院小兒科長	平町田町
吉田至孝	（三）	岩手縣釜石病院長	上小川村
矢吹一男	（三）	京都帝大病院內科	夏井村
酒井菊雄	（三）	東京市衛生技師	平町南町
荻野朝一	（四）	長野市赤十字病院	上小川村

右の外に第十二回上小川村北斗屋酒造店の令弟、吉田至孝氏が東北帝大醫學士となり研究中であつたが今回醫學博士の學位を得て、岩手縣釜石病院長として赴任した。と是れで磐中出身者で博士の學位を得たる者拾名に達した就中第十二回卒業生中には左の四博士を獲て居るは偉いものである。△金子甚藏平町田町△矢吹一男夏井村△酒井菊雄平町南町△吉田至孝上小川村

新川柳

六月例會

（六月八日午後五時より新平氏宅にて）

『空』　互選

飛行隊空へ〳〵と地をはなれ　新平
空德利首と一緒に振つてゐる　十寸叟
空世辭と知れど憎くもなく別れ　文狂
七合目足が重たい空つ腹　狂水
子等は野に小鳥は空へ春の唄　新平
雲の峰空につんぬく富士の山　あきら
懷ろ手敷島の空けつて見る　文狂
匙違ひ空を摑んだ儘で死に　文狂
二階借マッチの空へ糊を入れ　仝
空氣銃下駄ぬぎかけて鳥が逃げ　狂水
下駄箱の前でためらふ空模樣　新平
雪空へスキーの宿の夜が更ける　同
降りそうな空へキチンと四時を退け　同
公望の夢から醒めて腹が空き　雪哉
空唄も交る峠の若菜道　同
朗らかに唄ふ女生の青い空　東天紅
空想に生きて女のよく喋べり　同
眞帆片帆大海原と空の色　東天紅
ピクニック空の雲雀に聞きとれる　同
空想にふけて女優の皺がふえ　谿水
主命を空ふせざる下女でもめ　十寸叟
空涙御念がすぎて氣どられる　文狂
花形が病んで空席だらけなり　同

『灯取虫』　互選

寢そべつて讀む新聞へ灯取虫　東天紅
おひねりの中で死んでる灯取虫　劍珍坊
電球へ無駄な努力を灯取虫　同
うたゝねの顏へぱたりと灯取虫　十寸叟
かんじんの話とぎらす灯取虫　同
火取虫追てかけ廻す二男坊　谿水
電燈に張合のない火取虫　十寸叟
灯取虫疳癪玉のやうに捨て　劍珍坊
灯取虫ぶつつけられたとは知らず　同
つきらない話火取虫を見詰め　東天紅
待つ宵の思ひを亂す火取虫　同
眠られぬ灯へチラ〳〵と火取虫　同
火取虫あかし目がけて身を殺し　あきら

『空』　劍珍坊氏選

子等は野に小鳥は空へ春の唄　新平
下駄箱の前でためらふ空模樣　同
空閨を淋しむ部屋の絹布團　東天紅
空德利首と一緒に振つてゐる　十寸叟
空想にふけて女優の皺が殖え　谿水
人　日當の空地滿艦飾のやう　文狂
地　執達吏空屋のやうにして待たれ　同
天　空き腹へ眼鏡がくもる蕎麥のゆげ　狂水
軸　空や水戀といふ字が波に消え　劍珍坊

『ローマ字』　同氏選

ローマ字のはがきクラスの友へ出し　あきら
ローマ字の樂書もある驛便所　狂水
名をみんなローマ字でかくランドセル　同
英語かと見ればローマ字綴なり　同
比翼紋モダンローマ字組合せ　東天紅
タイトルのローマ字だけを讀んでゐる　十寸叟
ローマ字へ額をよせる開票日　谿水
ローマ字が讀めて給料ちと高い　新平
ローマ字の文に呼ばれる學校出　同
人　よく見ればローマ字だつた笑ひ聲　狂水
地　横文字が無いと賣れない化粧品　十寸叟
天　ローマ字をけなして老舗寂れゆき　新平
軸　Mさんのあとへ S さん女給醉ひ　劍珍坊

× × ×

折箱のたゝり當選取消され　大阪　○○

X光線科
上田[illegible]醫院
平 南町
電話二二九番

植田町 本町
森合齒科醫院
森合芳男

夏の學生服
丈夫デ型ガ良ク色ノサメヌ夏服ガ澤山揃ヒマシタ!!!

小學生用

一號	七八才用	九〇錢
二號	八九才用	一圓〇〇號
三號	九十才用	一圓一〇錢
四號	十一十二才用	一圓二〇錢
五號	十二十三才用	一圓三〇錢

中學生用（極上品）

五號	一年生位	二圓五〇錢
六號	二年生位	二圓七〇錢
七號	三年生位	二圓九〇錢
八號	五年生位	三圓一〇錢
九號	五年生位	三圓三〇錢

各學校制定釦ハ一五錢高
あかや洋服店
平町二丁目
電話二〇三番

膽寫版附屬品一式
スミス式・キング式
清光堂
清水屋書店
平町二丁目
電話百三十一番

四ツ倉町本町
菅波齒科醫院
菅波勇

內科・外科・診療一般
片岡醫院
湯本町驛前通

磐城湯本
溫泉旅館
松柏館
電話五番

平町田町
高久病院
電話五三一番

內科、小兒科、皮尿科
勝名醫院
平町紺屋町
電話五〇七番

理化學研究所製
吸入用酸素・酸素吸入器
優良ナル理研ノ酸素ノ御用意チ
正確 体温器 寒暖計
關内藥局
電話四〇番

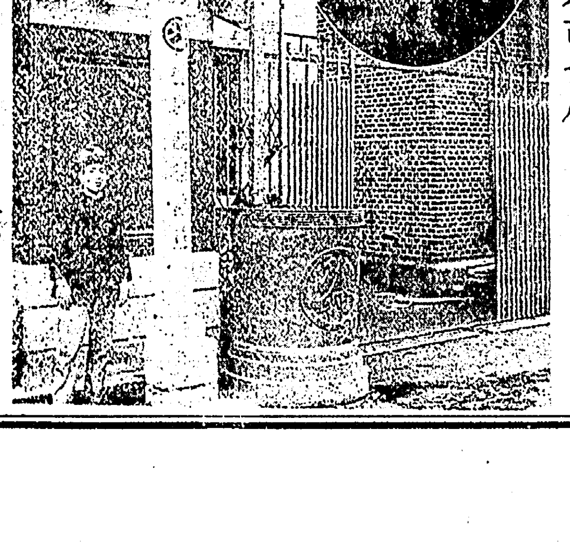
初夏の飲料
サッポロ キリン ビール
金線サイダー
リボンシトロン
銘酒 由良乃助
粕取燒酎
平町四丁目平驛通り
永山酒造店 總發賣元
電話二〇七番

移轉披露
弊店儀立町ニ營業致シ居候得共都合上公園下(元岡部織物店)ニ移轉致候間不相變御願致外
一、縮緬　一、絽縮緬
一、絽　一、横玉新縮緬
外絹織物一式 製造販賣
期間ハ十日内ニ出來致マス
平町新町二十二番地
絹織物一式 賃織 販賣
正木織物店
公園下西側

磐城セメント代理店
西村屋藥舖
平二丁目 長電話三番

別府温泉より生れた
神經痛 リウマチス 肩のコリ 腰のイタミ 凍傷 過勞性筋痛 の靈藥
溫泉エキス
（一名あんまいらず）
◘皆様是非お試し下さいませ
此外用溫泉エキスは今迄且つて世の中に無かつた神秘的の妙藥であります連續使用しましても副作用がありませんのと効力が確實な事とは他藥品の比ではありません
定價 五十錢 壹圓
特約店
平町五丁目
山野邊藥局
藥劑師 山野邊東次郎
◘養蚕用寒暖計
◘農藝消毒藥各種

磐城セメント特約販賣店
石綿セメント製
朝日煙突
耐水。耐火。美麗。廉價
サビナイ。ヤケナイ。クサラナイ



和洋銅鐵金物
㊅ 釜屋商店
平町五丁目
電話九番 三九番
振替貯金口座東京一〇九九六番
◘良品廉賣に勝る商略なし確實敏捷は㊅の生命なり

磐城共濟病院
內科 小兒科（院長毎日診療）
院長 醫學博士 難波睦
副院長 醫學士 五十嵐雄二
內科部長 中西林藏
外科 內臟外科 整形外科 レントゲン科 專門
外科部長 醫學士 氏家憲介
毎日曜手術 醫學博士 鈴木退輔
產婦人科 女子泌尿科 レントゲン科
產婦人科部長 醫學士 五十嵐雄二
顧問 醫學博士 川添正道
X光線科
主任 醫學博士 難波睦
本院醫事法制囑託 法學士 岡蕃
本院主事 賀澤忠治
御大典記念事業
一衛生試驗所
一病氣相談所
一救療所
平町 電話六四一番

日本石油株式會社特約店
平町二丁目
油問屋
關內油店
關內正一
電話長十六番
支店 郡山市驛前 電話三二八番
支店油槽所 茨城縣多賀郡關本驛前 電話平潟三七番

堂々非堂々得意壇上の面々（二）

筆の趣くまゝ、

平新町議觀

高橋龜松君

豫測通り終始一貫最高點で押し通した人である、雪辱四ヶ年の努力空しからずの標語を地で進んだ喜びは蓋し御本人ばかりではありますまい。敵の陷穽にあぶなく嵌まらうとしたが、所謂選擧の有である、同情の御陰で優秀の成績を收め得た事は、むしろ天祐とも云つてよからう。おとなしく見えるのと、金離れのいゝ處から赤い街からの氣受けは極めていゝ。公友會を標榜し井上頭領の幕下にあつて、然かも井上君のふところ刀として羊の如くからだを動かすのも黨としては是非必要な事であらう。議席四ヶ年の期間中、鳴かずに働いてもらいたいワ――これが彼女の念願である。

青沼鋒太郎君

自ら一新會を組織し、其の頭目となつて大森君以下三名の同志を指揮し、大いに町政刷新の爲め砕身の努力を拂ふと云ふのが同會組織の本旨であらう、町長選擧の際樂觀が禍して、伏見彦衞君には僅かの差で惜敗した、三爲町民の同情は潮の如く高調した、伏見君の暴戾不德に對する反感もあらうが主として青沼君の實際的手腕を惜しんだ結果に依る事は事實である。町會には、議員三十名中無くて成らぬ人材である。

國府田直良君

高橋龜松君と同様公友會に籍をおき、井上君の幕下にあつて、町治に一肌抜かう、と云ふケナゲな人である、羽二重の様な滑めらかな陰に針の様なトゲツポさがチラホラと隱見する、それでゐて人は善良である、そこに、君のおかし難い威嚴が秘んでゐるのかも知れない現在平藝妓屋組合幹部中無くて成らぬ人物として尊敬され、信望を一身に集めてゐる。

千葉彦治君

井上君を補け、町會には大いに打つて出でやうと云ふのが君の本然性らしい、白井家の顧問辯護士だけになかく〱に槍り手である。町會には闘士として大いに町民の期待をうけてゐる、雄辯家でも能辯家でも無いが言はんとする内容にはソツが無い、商賣人の精でもあらうが一つは頭のいゝ事をも證明するものであらう。

石山治三郎君

溫良其のものである。今までは、黨人として、其れ程色彩は鮮明ではいが、どつちかと云へば灰色じみた人であつた、それがドンナ調子か、井上君の翼下にあつて、大いに黨人振りを發揮しやうと云ふのだから面白では無いか、策も略も無いが、所期の目的に對しては根強い眞劔味がある、そこに君のつよ味があるのであらう、其の持ち味を終始一貫させたいものである。

鈴木光吉君

坂本隆藏君を頭目とする中正會の一員に加はり町會にあつて名の如し、飽くまで至公至平をモットーに直進しやうと云ふのが同君年來の希望らしい、敎育家だけに、几帳面な他面に、政治家的素質が豊かに盛られてゐる、過般の初町會に於いて、町長に柔かな一矢を與へたあたり、一種の痛快味があつた、議論もシッカリしてゐる、内容もある、矢張り關内君や猪狩君等と同様に町會の一權威である。

壯嚴裡に行はれた
鷹崎貞衞氏葬儀

前平町議鷹崎貞衞氏は胃腸病のため東京仙臺にて加療中であつたが、藥石効なく去る二十一日仙臺東北大學病院にて永眠され危篤のまゝ自動車にて平着昨二十四日午後二時自宅出棺神谷村大圓寺に送葬された會葬者多數。因みに氏は平町議も二期務め、磐城林業會社長石城產科婦看護婦學校々主其他公共事業に關係多く其死を悼まれて居る、行年六拾歳。

弔辭 ■平町長伏見彦衞■赤十字平分區長伏見彦衞代讀花澤文庫■產業組合福島支部石城部會長山崎與三郎■神谷村長■郷社出羽神社社司■出羽神社總代■友人總代井上茂作■石城產科婦看護婦學校講師總代酒井國三郎■元產婆會代表■石城產科婦看護婦學校々友會總代■同在校生總代

弔電 牧野子爵外四十通

再び肺結核の豫防に就て〔拾〕

湯本町　片岡鎌三郎

性慾問題

肺結核病者は、荒淫は元より悪い、禁慾して別段苦痛で無ければ抑制するがよい兎に角著しく抵抗力を弱むる事は確だ、要するに禁慾問題は症狀輕重營養良否により一概に論斷出來ない。潜在結核は絶對的禁慾の必要はない、適度に生理的に性慾を滿し身心安靜を得ば却て良好である滿されざる性慾の爲めに不眠症や憂鬱症を起す者には却て良好であるは云ふ迄もない、フロイド氏は不安恐怖の念は滿されざる性慾により起るものなりと英雄色を好むと云ふが、色を好む位の人は大膽で不安恐怖の觀念が無いから豪傑的色調を現はすものだとも見られる、然し實際禁慾の爲め多少、不安陰鬱恐怖的心情になるのは事實だ、之れは結核治療に甚だ宜敷ない故、營養佳良ならば合理的手段で、性の滿足を遂げる事は有害でないと云ふ一般學者は認めて居る勿論病勢進行中は體力消耗から云つても有害である、けれども根強い性の慾求から、本能的にかられて性慾を滿し或は自瀆的行爲の場合甚だ後悔し病氣を惡くしやしないか取返のつかぬ事とならぬかと後悔し非常に恐怖する者が可なりある。之れは性慾を滿すと云ふ其ものより尚更悪い、こんな場合深く氣に留める必要はない、須く何事によらず已往を追て心配するなど絶對にせぬがよい、要するに止み難き場合は、貝原益軒先生の敎訓に則り篤く心に刻みて習練するがよいと一般學者は説かれてある

結婚問題

此問題は個人的社會的衞生的に重大事である、オスラム氏は結核病婦人の結婚問題は宛も動物試驗の如しと面白い警句であります。結婚は單に性交のみでなく姙娠 分娩、產褥、授乳が伴ふから個體抵抗を弱めるのは勿論である、已存の潜在結核を發病に導くのも當然である、少くとも結核治癒後二三年間婚約猶豫が肝要である、單に一時の衝動にかられ結婚すれば取返しがつかぬ破目に陷るのは考慮せねばならぬ、元來潜在結核は決して結婚を忌避する要はない却て適當の配偶を得て心身の慰安を得るは治病上好結果を得るものである、靑春血燃ゆる男女が相思の仲を肺病と云ふ、障害物に堰かれて家庭を作る事が出來ず快々として居る人が多い、此問題は從來世人が思つてる事は大部誤があると思ふ、試に世人の誤解の重なる點は

1 肺病は遺傳する
2 結婚は病に惡影響する
3 配偶者に傳染する

何れも一通りの道理はある第一遺傳問題は今日學者は一般に非認する、痴人の夢として居ります、肺病の子供が强ち肺病にならぬと云ふ事實は立派に立證されてある、元來靑春血跳る時代の相思は中々に强烈である徒らに、否定するは無意義である、之を治病的に善用する方法を考へなくてはならぬ。

觀世素謠會
町議會員祝賀會

平素謠觀世會にては今回町會議員となつた、坂本隆藏猪狩庄平、佐々木龍若、三氏の會員を主賓となし去る二十三日大貞にて開催出席員多數盛況であつた曲目は左の如し

養老、八島、杜若、富士太鼓、絃上、賀茂、鉢の木、猩々等である。

植田町議二十九日改選
候補者政友拾名民政九名
一名定員超過

永らく町長問題で行き悩んで居つた植田町も鷺清昇氏町長に就任後の同町會議員改選は來る二十九日執行さるゝが該立候補者定員十八名を越す一名にして政友系拾名民政系九名であるそのうち小野忠衞氏は政友會の人であつたが今回は民政側と觀られて居る、因みに該候補者を町別政黨別年齡を記せば左の如くである。

◇植田	古川傳一	政	43
	小宮山皆吉	同	47
	鈴木林平	同	32
	渡邊義一	同	41
	香取吉藏	同	53
	佐藤松之助	民	66
	小川福太郎	同	58
◇佐糠	太田稻城	同	27
	北郷繁七	同	51
◇岩間	會川熊次	政	53
	佐藤丑太郎	民	43
◇小濱	植田善三郎	政	41
	坂本龍太郎	同	51
◇添野	渡邊國之助	政	47
	豊田丑松	民	53
◇江畑	大平菊藏	政	48
◇後田	鈴木壽三郎	民	45
◇仁井田	赤津增治	民	47
	小野忠衞	民	42

平賀仙三郎氏の歡迎會

元磐中敎諭にして目下北海道深川高等女學校長たる平賀仙三郎氏來平に際し磐中職員同窓生主となり歡迎會を去る十九日住吉屋本店に開催種々懷舊談に花が咲き記念撮影等をなし盛會であつた。

磐中同窓會
役員協議

磐城中學校同窓會役員會を明二十六日午後七時より越乃家に於て會合種々協議をなす但し評議員も參加する筈である。

地方町村議當選者（三）

小名濱町〔十七日執行〕

○九六吉田龜之助○九五小野德藏○九三小野晋平○九二小野務平○九一立花雄七○八五中野鐵之助○八四小濱長太郎○七五草野良太郎○七三岡山重喜○七三小松力○七二堀越新平○六五小松重兵衞○六四佐川松太郎○六二熊谷寅次郎○六二菅原彌作○五九野崎長次郎○五九江尻甚太郎○五二松本德次郎○次點五二村上淨代二

玉川村議二十九日改選
立候補者十六雄
定員を越す四名

〔既報〕玉川村々議改選は來る二十九日執行されるが決定せる立候補者左の如くである

長瀬主人、小泉忠文、渡邊渡、渡邊大、丹野秀治、丹野寅吉、小泉勇、西丸一、小松精助、鈴木平九郎、永山太次郎、高萩儀平、竹原銀次、佐藤盛司、齋藤貢、山野邊壽松、以上十六名にして定員十二名を越す四名である。

平新町議
分野四派に別る

平町議の分野は左の如く民政黨十二名政友會は公友會となし準政友たる中立組は二派に別れ中正會、一新會となるかく政友會が分立せるは民政黨の如く俱樂部といふ會合所なきためと言はれて居るが近く三派聯合事務所を設置する如くである

民政黨　野崎、萩原、吉田「五」、吉田「寅」、柳下、馬目「雅」、佐藤、荒川「淺」、吉村、武田「元」、櫻井、永山、十二名

公友會　井上、佐々木、千葉、國府田、石山、高橋、六名

中正會　坂本、關內、猪狩、綠川、根本、鈴木、馬目「武」七名

一新會　青沼、大森、荒川「恒」、花澤、齋藤、五名

二町目
新舊議員
懇談會

平二町目有志主催にて前町會議員丹野榮三郎氏、同柏原眞吾氏、新議員關內正一氏の新舊議員慰勞祝賀懇談會を去る二十日午後八時より谷口樓にて開催出席員約八十名先づ鈴木堅助氏の開會の辭、長瀬綾次郎氏の祝辭、次いで丹野、柏原、關內三氏の挨拶あり頗る意義あるものであつた。

話耳目

四ッ倉電氣が東部電力と合併する事となりその比率は對等とか。

× ×

片倉磐城製糸も去十五日から操業開始となる。

× ×

湯本町議改選も終つた、同町民有權者は良く、正しく裁いたものである獲票が嚴かに物言ふて居ると今尙ほ噂されて居る。

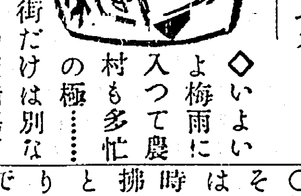
× ×

違反までして、法を犯して迄議員様になりたいものかこうせねばならぬは己れが平常の心懸けが悪いからで要するに德が足りぬのだそうするとかくの如き人は公職としての價値がない事になる……だが勝てば官軍で戰國時代と何等變らぬ町政を刷新せんがため當選せねばならぬといふなら判るが一個人の名譽のためとしては困る歸する所すべてが目的を果さん爲の手段と解せばよいだらふテ。

マルトモ柴田書店
平町四町目電話一三四番

小松崎洗張本店
平町二町目電七七〇番

乘合貨物 昭和タクシー
澤正路 電話三四三番



◇いよいよ梅雨に入つて農村も多忙の極……だがさすが色街だけは別なもので種々雜多の交錯場面を呈して居る、そのうち平も旅館が料亭を兼業出來ぬ事になるらしいそれが當然の事さてそれはそれとして◇竹の家のお蝶、暫らく身輕の保養をなして居つたが最近古巣へと戻りまだの勤めをなす由であると同家のスミレが申した通り……ウソはなかつた此のスミレが判斷したら、株の如く當るはトー然だらふとの事である。◇松太郎姐さんの髮の毛に不思議を抱く者多いがそう不思議がらんでもよい松葉が居らなくなつたからやはり松に緣ありそのうち判るテ◇米京の金時、谷口のお染、二葉家のやめた○○裙等は共通性がある相だそうかな。◇ある筋の客連は藝妓をあげたは良いが四時間も居つたのに二本しか拂はずそれが代は藝妓持ちとなつたとか可愛相でもあり又藝者の方で十ハレク、ど揚げしたのかも知れぬトクと調べなはれ。◇玉川の××裙と、三島家の×××姐さんの共通點はどんなもんだいと判らんだな身二つになる事サ。■白河から來て居つて近藤勇と艷劇を演じた吉野家の太助は、中村は壽へとおちついて居る、その事同家には玉太郎千代龍等々平經由の妓で大半を占めて居るそうだ。

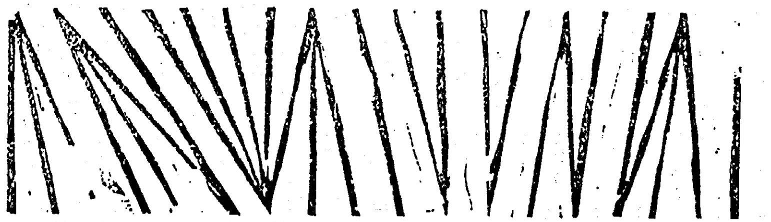
× × ×

磐城柔道有段者會の
紅白試合戰跡

磐城柔道有段者會では去月十二日磐中道場に於て第一回春季紅白勝負を行つたが白軍の勝利となりその戰跡左の如く

○紅軍

大將二段 大畑鈴一郎
副將初段 今野忠三
同 加藤市
同 志賀通
渡部正
豊田要三
狩野清
末永義治
井上義美
天野利
熊川義長
吉田壬子郎
草刈剛
阿部克己
中村忠義
西方惣治
馬上榮
馬場恭次郎



○白軍

大將二段 安齋利三郎
副將初段 池澤三郎
同 鈴木忠亮
根本久太郎
齋藤馨
大和田勝平
山口銳太郎
林恒夫
長瀬武重
篠原壽雄
草野壬子雄
廣木允明
草野良夫
大平民雄
高橋正雄
木村敏治
鈴木政雄
佐々木正康

外勤員募集

固定給を支給し外に步合あり
御希望の方は履歴書送付次第
面會日通知す

明治生命保險株式會社
平駐在社員　高玉德彌
平町杉平二一
◉人格高尙にして奮鬪家を望む

米雜穀味噌醬油商
山野邊米店
山野邊久利
平町仲町「平税務署前」

夏衣大賣出し
六月二十三日より

◇浴衣地
■婦人世界推奬壹萬圓懸賞付
浴衣地陳列會………
■スター好ミ浴衣地陳列
◇七月壯丁用御仕相セ
■絽羽尺
■本場銘仙
■其他特價提供
◇本蚊帳……特價
■本麻　六・八　六圓五十錢
■同　七・十　八圓六十錢
■ホロ蚊帳　七十五錢
△祝儀・不祝儀の……御引物は……是非 亀 へ
平陽實科女學校
藤田女學校　指定販賣店
◇親切第一良品廉賣
亀 中野呉服店
平町三丁目電話六十七番

良鷹院德譽貞衞淸居士故父貞衞儀葬送の際は御鄭重なる香奠を賜はり且つ御遠路の處御會葬被下候段難有御禮申上げ候

昭和四年六月二十五日

平町一丁目
鷹崎正見
親戚總代
新妻謙
樋口速
嘉納治五郎